

「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」に 2年連続で宮沢賢治童話村が選ばれました

2018年10月29日、『訪れてみたい日本のアニメ聖地88(2019年版)』(主催 一般社団法人アニメツーリズム協会(以下、協会)が「第31回東京国際映画祭」開催中の六本木ヒルズにて発表され、昨年に引き続き、宮沢賢治童話村が選定されました。

賢治童話の世界を楽しく学習しながら観光発展に寄与する施設であることや、イーハトーブフェスティバルを通じて2014年からアニメ作品(賢治作品含む)を上映するイベントを行っていたことが理由となっています。

協会は、日本のアニメの力をさらに活かした地域の活性化、インバウンドを促進する団体で、アニメ聖地を全世界に発信しており、多くの国から反響をいただいていることから、今後、童話村に多くの観光客が来場されることが期待されます。

一般社団法人アニメツーリズム協会の概要

○設立2016年9月 会長・富野由悠季

全世界のファンからの投票に基づき『訪れてみたい日本のアニメ聖地88(2018年版)』を2017年8月に初めて選定し発表。国内外に向けて広く発信するとともに、地域や企業、権利者の方々と連携して「アニメツーリズム」の振興に努め、日本のアニメ産業の隆盛に寄与する取り組みを行っている。

○『訪れてみたい日本のアニメ聖地88』は新しいアニメ作品や地域の盛り上がりなどを反映させていくため毎年を更新を行っている。

その他

賢治の作品世界を幻想的に表現した、童話村の森ライトアップ2018が終了しました。昨年度より来場者が増えており、オブジェも新たに加えたことから、アンケート結果では今年も多くの方から好評をいただいたところです。

また、ライトアップの最終日でのクロージングイベントでは、わらび座を迎え、荘厳な太鼓のパフォーマンスや東北の郷土芸能の舞に多くの方が魅了されていました。

ライトアップ概要

○実施日 7月27日～10月7日(34日間 金・土・日、お盆期間開催)

○時間 日没～午後9時

○来場者数 約25,000人(昨年 23,300人 39日間)

○オブジェ数 70体(昨年54体)

